

# 内部統制対応の人材育成

## アビタス、千葉商大と提携

アビタス（東京都渋谷区、三輪豊明社長、03・3299・3330）

は、企業に内部統制ルールの確立を義務づけた金融商品取引法に対応するための専門人材の育成で、千葉商科大学と提携した。専門講座の開設や卒業生のキャリア支援が柱で、同社にとって大学との本格的な連携は初めてとなる。米国公認会計士資格など、会計、監査に特化した資格取得支援スクールを運営するアビタスは、教育体制を充実し、企業ニーズの高い内部統制に精通した実務者育成を急ぐ。

今回の提携で、千葉商科大学会計専門職大学院は、アビタスが実施する公認内部監査人（CII）コースと公認情報システム監査人（CIS）コースを基に再構成

した「内部監査概論」を11月上旬に開講。これに対し、アビタスは同講座修了者を対象に自社の実践講座を従来価格の6割程度で受講できる制度を導入した。またアビタス

の卒業生には、同大学の指定機関入試を受験することで筆記試験が免除される措置を導入する一方、アビタスは大学院生の就職支援を行うなど、相互交流する。

法令違反や情報漏洩などによる企業不祥事を防ぐため、08年度からすべての上場企業に適用された内部統制報告制度では、財務報告の信頼性や法規制への準拠を示すために文書整備や監査を求めている。

だが、企業の多くが業務プロセスの文書化や制度評価に精通した人材不足に直面しているのが実情で、なかでもIT対応が喫緊の課題という。

2008年11月26日付・日刊工業新聞

掲載記事の著作権は日刊工業新聞社に帰属します。（転載許可承認済）